



迎春



小川地区のどんど焼きの様子

時代の流れとともに、実施日や場所などその姿は変化していますが、天高く燃え盛る炎を取り囲みながら、地域の人たちが心をつなげて無病息災を祈る光景は、今も昔も変わらないあきる野市のお正月の風物詩です。これからも永く受け継いでほしい、地域の貴重な伝統文化です。



どんど焼きは、お正月に行われる伝統的な行事の一つです。市内では現在、秋川や平井川の河川敷や神社境内など約30か所で行われており、「サイノカミ」「セイノカミ」などとも呼ばれています。大人や子どもたちが各家々のお正月の松飾りやしめ縄、だるまなどを持ち寄り、竹などを使って円すい形に組み上げて燃やします。この時に焼かれた団子を食べると、その年は風邪などの病気をせず、健康に過ごせるといわれています。また、残った灰をお守り代わりにしたり、豊作祈願として畑にまいたりもしたそうです。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。旧年中は、市政に対しまして皆様の温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

あきる野市長として、初めての新年を迎え、このまちにある豊かな自然の恵みと素晴らしい伝統・文化を、未来を担う子どもたちに引き継いでいけるよう、全力で邁進していく決意を新たにいたしましたところであります。

さて、昨年は、国におきまして、まち・ひと・しごと創生法の下、急速に進む人口減少と高齢化、地域経済活性化の対策に取り組み始めるとともに、1億総活躍社会の実現に向けて、必要な対策を講じるところとしており、今後、具体的な施策の展開に期待するところであります。

一方、市におきましては、これまで行財政改革に積極的に取り組んだ結果、財政指標も改善されてまいりましたが、少子高齢化対策や地域経済活性化等の施策を展開していくためにも、更なる行財政改革により強固な財政基盤を構築していく所存であります。

また、今年には、本市においても「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、具体的な取組を進めてまいります。その一例を挙げますと、市民の重要な交通手段であります「地域の公共交通」につきましましては、公共交通利用に関するアンケート調査等を行い、その在り方を具体的に検討してまいります。昨年からは取り組んでおります「子どもが主役のまちづくり」では、地域子ども育成リーダーからの提案事業を行うなど、子どもの健全育成と子育て支援を着実に進めてまいります。そして、4月には秋川渓谷の豊かな自然環境と歴史・文化を生かした「秋川渓谷戸倉体験研修センター」がオープンいたします。観光振興の新たな拠点として、多くの方にご利用いただけるよう管理・運営に努めてまいります。

あきる野市は昨年、二十歳を迎え、その門出を多くの皆様と共に祝ったところであります。今後も更なるまちの成熟に向け、市民の皆様と歩みを共にしてまいります。年頭ごに当たり、皆様方のご多幸を祈念するとともに、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。まして、新年のご挨拶とさせていただきます。

あきる野市長 澤井敏和